



Internet Initiative Japan



代表取締役社長 勝 栄二郎

# 株主通信

2016年3月期 決算のご報告 2015.4.1—2016.3.31

株式会社インターネットイニシアティブ 証券コード:3774

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年3月期におきましては、増収基調が強まり、増収規模が人件関連費用や減価償却費等の費用の継続増加を吸収し、売上高1,406.5億円(前期比14.3%増)、営業利益61.4億円(前期比21.0%増)、当社株主に帰属する当期純利益40.4億円(前期比21.6%増)となりました。クラウド関連サービスにおきましては、売上が継続増加するなか、企業の基幹システムや業務システムのクラウド化需要を狙い、新たなサービス基盤となる「IIJ GIOインフラストラクチャーP2(※1)」の提供を開始いたしました。セキュリティ関連サービスにおきましては、情報漏えい等によるセキュリティ意識の高まりを背景に需要は旺盛で、更なるサービスラインアップ拡充等を図り、売上の積み上げが進みました。注力しておりますモバイルサービスにおきましては、「格安SIMサービス(※2)」が急速に普及するなかで、販売チャネルの継続強化等を図るとともに、MVNE(※3)との他社へのサービス提供による個人集客戦略も進め、回線数が大幅に増加いたしました。国際事業におきましては、海外各拠点の事業推進に加えて、インドネシア及びタ

イでの現地有力事業者とのクラウド事業の立ち上げ等の事業機会を創出いたしました。

2017年3月期におきましても、引き続き高い増収率による売上高伸張とそれに伴う営業利益の向上を目指します。

国内初の本格商用インターネットサービスプロバイダーとして設立以来、当社グループがインターネットに係る新たな価値と利用形態を提供し続け24年になろうとしております。その間インターネットは、企業活動や個人生活に深く浸透し、その役割を拡大してまいりました。今後も「ビッグデータ」や「IoT(※4)」等に代表される新たな利活用が、経済社会に大きな変革をもたらしていくと予想されます。当社グループは、このような変化に対応し、中長期での事業成長を実現すべく、2017年3月期を初年度とする5か年中期計画を策定いたしました。更なる企業価値の向上に努めるとともに、革新的なサービスの提供を通じてネットワーク社会の発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

(※1) IIJ GIOインフラストラクチャーP2: 新たなサービス基盤として提供している次世代クラウドサービス。従来のサービスでは、不特定多数のユーザーが利用するパブリッククラウドと特定のユーザーが利用するプライベートクラウドを別々に提供していたが、本サービスでは、高処理性能のパブリッククラウドと高信頼のプライベートクラウドを組み合わせて利用できる仕組みで提供している。  
(※2) 格安SIMサービス: MVNO(Mobile Virtual Network Operator)等が提供している通信量の上限設定等により、大手移動通信事業者と比較し利用料金が安価な通信サービス。MVNOとは、自社で物理的な回線網を保有せず、他の移動通信事業者から借りて或いは再販を受けて移動通信サービスを提供する事業者。  
(※3) MVNE: Mobile Virtual Network Enablerの略。MVNOとの契約に基づき、当該MVNOの事業構築を支援する事業を営む者。移動通信事業者との交渉やサービス提供に係るシステムの構築及び運用等を行う。  
(※4) IoT: Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。

## 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

	実績			公表見通し	
	2015年3月期	2016年3月期	前期比	2017年3月期	前期比
営業収益(売上高)	123,050	140,648	14.3%増	159,000	13.1%増
営業利益	5,075	6,140	21.0%増	7,300	18.9%増
税引前当期純利益(※)	5,139	6,193	20.5%増	7,300	17.9%増
当社株主に帰属する当期純利益	3,322	4,038	21.6%増	5,000	23.8%増
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(円)	72.31	87.88	21.5%増	108.81	23.8%増

(※) 法人税等及び持分法による投資損益調整前当期純利益を指す。

# 2016年3月期 連結業績

## ●売上高は、前期比14.3%増(176.0億円増)の1,406.5億円

ネットワークサービス売上は、法人向けインターネット接続サービスにおけるMVNE提供先の増加及び規模拡大、個人向けインターネット接続サービスにおける「格安SIMサービス」の大幅増加、WANサービスにおける案件の積み上がり、アウトソーシングサービスにおけるセキュリティ関連サービスの需要増加等があり、前期比14.9%増となりました。システムインテグレーション売上は、前期から引き続き企業のシステム投資意欲が根強く、システム構築による一時的な売上が増加するとともに、システム運用保守及びクラウドサービスによる継続的な売上も増加し、前期比12.3%増となりました。

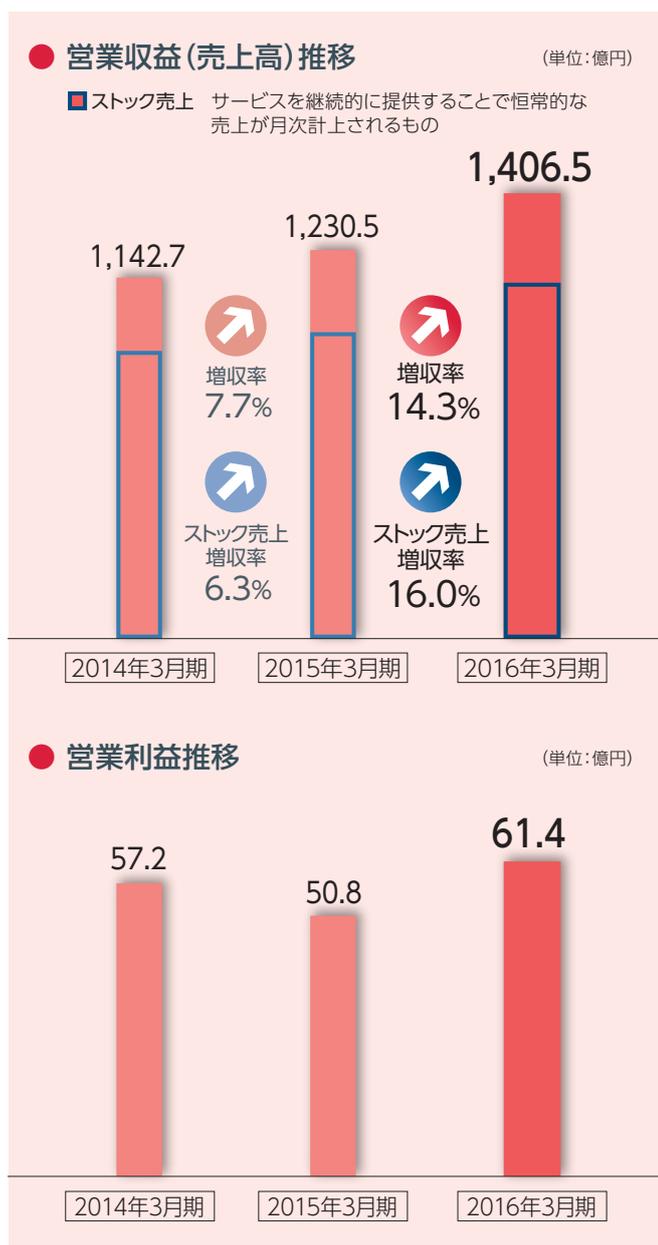
## ●営業利益は、前期比21.0%増(10.7億円増)の61.4億円

売上増加に伴う外注関連費用の増加、設備追加等に伴う減価償却費の増加、人員増加に伴う人件関連費用の増加やモバイルサービスに係る販売手数料の増加等がありましたが、増収規模が当該費用増加を吸収し、前期比21.0%増となりました。

## ●当社株主に帰属する当期純利益は、前期比21.6%増(7.2億円増)の40.4億円

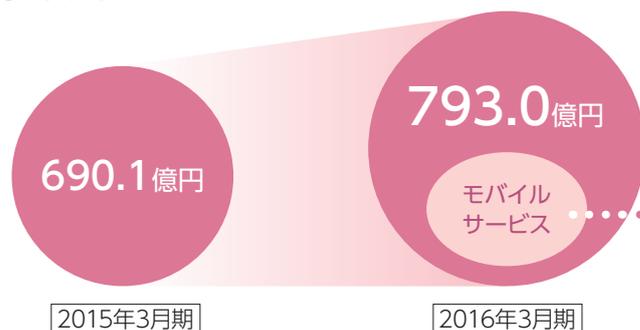
営業利益の増加等があり、前期比21.6%増となりました。

## ▶ 主要業績指標の推移

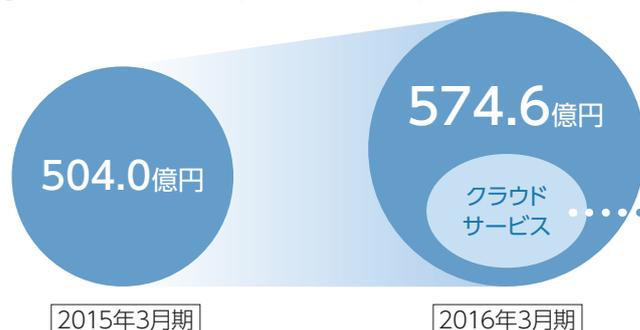


## ▶ サービス別売上高の推移

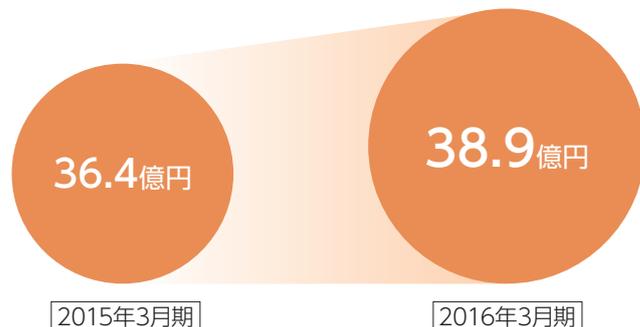
### ● ネットワークサービス



### ● システムインテグレーション(機器販売含む)



### ● ATM運営事業



## ネットワークサービス

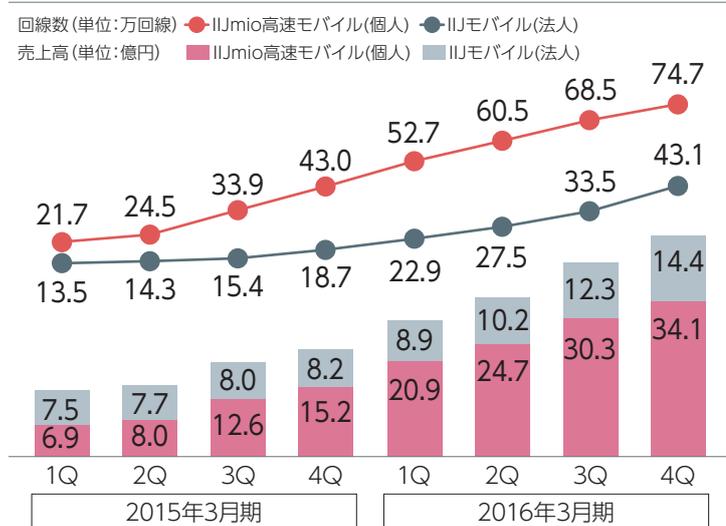
### モバイルサービスの進捗

2016年3月期におけるモバイルサービス関連売上高は155.9億円(前期比102.7%増)、回線数は122.8万回線(前期末比55.5万回線増)と大幅に増加いたしました。

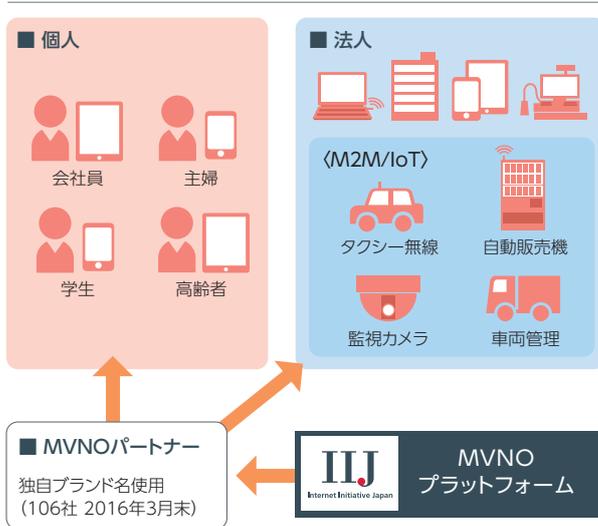
個人向けモバイルサービスにおきましては、携帯料金に対する政府の議論等により「格安SIMサービス」の認知が継続して進むなか、各種満足度調査で1位に選ばれる等、市場での

存在感を発揮しております。また、販売戦略では、(株)ビックカメラ様等による代理店販売、パナソニック(株)様やケーブルテレビ各社様を含む106社へのMVNEサービス提供等、個人市場への訴求力を持つ企業とパートナーシップを組み、急速に拡大する需要の取り込みを推進しております。

#### ● モバイルサービス関連売上高・回線数の推移



#### ● MVNEサービス概要図



## システムインテグレーション

### クラウドサービスの進捗

2016年3月期におけるクラウドサービス関連売上高は140.9億円(前期比14.9%増)(※1)、顧客数1,430社(前期末比120社増)と増加いたしました。

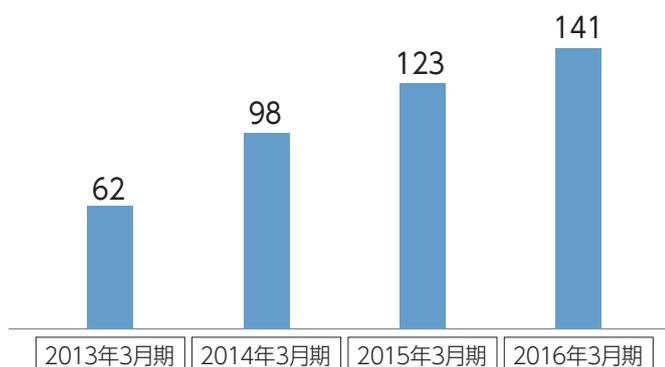
大手建設会社の全システム基盤クラウド化案件の受注等、企業内の基幹システムや業務システムへのクラウドサービス

利用が着実に広がっております。また、新たなサービス「IJ GIOインフラストラクチャーP2」につきましては、ハイブリッドクラウド(※2)案件等、先進的な利用方法を含む引き合いが好調に推移しており、中長期での売上拡大への寄与を展望しております。

(※1)クラウドサービス関連売上高140.9億円のうち、約86%はシステム運用保守に計上、残り約14%はアウトソーシングサービスに計上。  
(※2)ハイブリッドクラウド:パブリッククラウド、プライベートクラウド又は自社管理下に設置し運用するオンプレミス等を併用する運用形態。

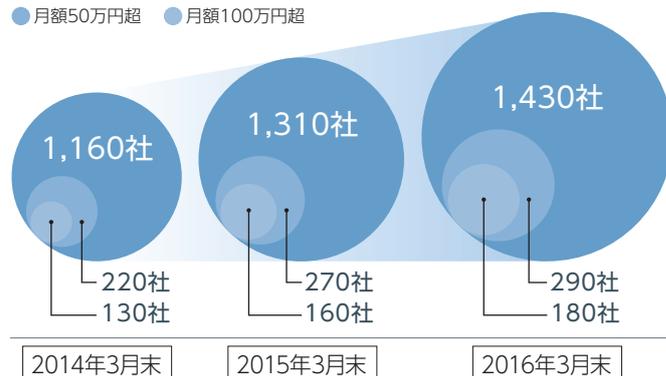
#### ● クラウドサービス関連売上高の推移

(単位:億円)



#### ● クラウドサービス顧客数の推移

● 月額50万円超 ● 月額100万円超



# トピックス

## ▶ 格安SIMサービス

「格安SIMサービス」とは、大手移動通信事業者と同様に、スマートフォン等で利用できる移動通信サービスです。自社運営の店舗を持たない、過剰なサービスを行わない等の工夫で、安価に通信サービスを提供しています。当社では個人向けに「IIJmio(ミオ)」、法人向けに「IIJモバイル」とのブランドで、格安SIMサービスを提供しております。

### ● 格安SIMサービス概要図



## ▶ クラウドサービス

クラウドサービスとは、従来自社で保有していたサーバやアプリケーション等について、自社保有せずにネットワークを通じたサービスとして利用する仕組みです。利用者にとっての大きなメリットは、自社購入と比較して安価な初期コスト、必要な分だけを利用できるシステムの柔軟性、システム管理及び運用の負担軽減等です。当社グループは、長年培ってきたデータセンター等の関連技術を活かし、2009年より「IIJ GIO(ジオ)」ブランドで、クラウドサービスを提供しております。

### ● IIJ の格安SIMサービスご解説

#### ■ SIMカード

「SIMカード」とは、スマートフォン等の中に入っているICカードのことであり、お客様を識別するために利用されます。



#### ■ 料金

音声通話とデータ通信合わせて、月額1,600円からご利用いただけます。

#### ■ 使用端末

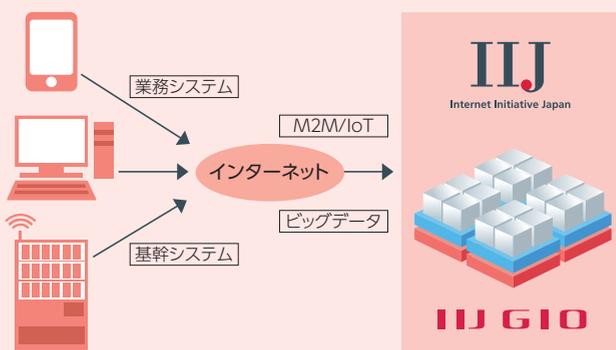
SIMロックフリー端末又は(株)NTTドコモの端末をご利用いただけます。



#### ■ 購入方法

当社webサイトや家電量販店等でご購入いただけます。

### ● クラウドサービス概要図



## ▶ セキュリティサービス

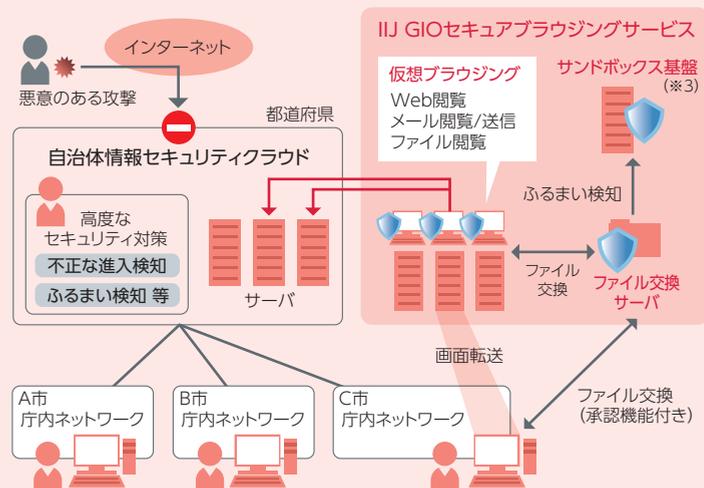
当社グループが提供するセキュリティサービスは、高いセキュリティ技術とメールセキュリティ・ファイアウォール(※1)・DDoS攻撃(※2)対策等の豊富なサービスラインアップを、ネットワークサービスやシステムインテグレーションと複合提供できることに強みがあり、多くの大手企業や官公庁等でご利用いただいております。当期においては、人工知能(AI)を活用したセキュリティソリューションや自治体向けクラウド型ブラウジングサービス(右図)の開発等を行い、情報漏えい等で高まるセキュリティ需要の獲得を推進しております。

(※1)ファイアウォール：組織内のネットワーク等に、外部からの不正な侵入を防ぐための技術。

(※2)DDoS攻撃：Distributed Denial of Serviceの略。複数のマシンから大量の接続要求等を行い過剰な処理負荷を与えることでサービスを機能停止状態へ追い込むサイバー攻撃の一種。

(※3)サンドボックス：安全な仮想環境上でメールの添付ファイル等を実行し、そのふるまいを観察することで疑わしいファイルを検知するセキュリティ技術。

### ● 自治体向け「IIJ GIO セキュアブラウジングサービス」概要図

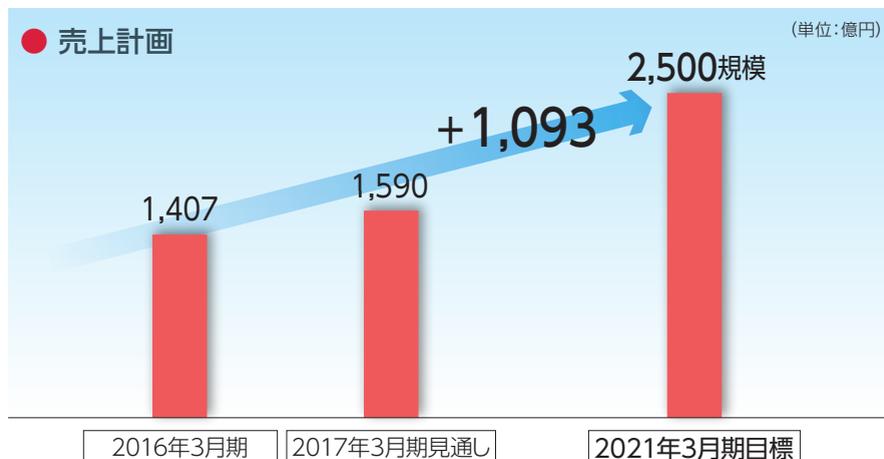


総務省が導入を進めている「自治体情報セキュリティクラウド」と連携ができ、セキュリティ向上を図りながら行政業務の効率性を維持できるソリューション

# 今後の見通し

## 中期計画(2016年度～2020年度)

当社グループは、大幅な事業成長を実現すべく、2017年3月期を初年度とする5か年中期計画を策定いたしました。



### 成長戦略

- 「ネットワーククラウドサービス」「システムクラウドサービス」の両輪で企業システム利用形態に即したワンストップソリューションをシステムインテグレーション機能とともに提供
- MVNO(\*1)・セキュリティ等競争優位分野の更なる推進
- 配信事業、M2M(\*2)/IoT関連事業、海外事業開発、ヘルスケア事業等の新規領域にも注力

### 売上

増収年率10%超を維持、目標2,500億円規模

- クラウド事業
- MVNO事業
- ネットワーク・システムインテグレーション他

2021年3月期売上高目標(2016年3月期比)

約	450億円(+309億円)
約	650億円(+494億円)
約	1,400億円(+290億円)

### 事業規模

国内市場シェア1位を目指す

- 企業向けクラウド事業(IaaS(\*3)領域)
- MVNO事業: 700万回線規模目標(20年度末)
- 企業向けインターネット関連セキュリティ

### 営業利益

● 増収による粗利増効果で  
2桁増益年率を継続

● 中期計画  
早期に100億円を超え  
継続成長

(※1)MVNO: Mobile Virtual Network Operatorの略。自社で物理的な回線網を保有せず、他の移動通信事業者から借りて或いは再販を受けて移動通信サービスを提供する事業者。  
(※2)M2M: Machine to Machineの略。人が介せず機械が相互に通信し合う通信形態。自動販売機や監視システム、センサーを搭載した計測機器等の様々な機器で利用されている。  
(※3)IaaS: Infrastructure as a Serviceの略。回線やサーバ等の情報システム構築及び運用に必要な基盤(インフラ)をインターネット経由で利用できるサービス。

## 2017年3月期 業績見通し

営業収益(売上高)

1,590億円  
(前期比13.1%増)

営業利益

73億円  
(前期比18.9%増)

当社株主に帰属する  
当期純利益

50億円  
(前期比23.8%増)

配当金(年間)

27.00円  
(前期比5.00円増)

売上高につきましては、モバイルサービス関連売上高及びクラウドサービス関連売上高の各々約255億円及び約162億円規模への増加、その他売上高の継続伸長等を鑑み、1,590億円(前期比13.1%増)と予想しております。営業利益につきましては、販売管理費は継続増加するものの、売上高増加による売上総利益額の増加を鑑み、73億円(前期比18.9%増)と予想しております。

### ● 配当金について

当社は、財務体質の強化及び中長期的な事業拡大並びに事業投資等のための内部留保を配慮しつつ、継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、2017年3月期におきましては、中間配当13円50銭、期末配当13円50銭とする見通しとなっております。

# 会社概要/株式情報

## 会社概要 (2016年3月31日現在)

会社名	株式会社インターネットイニシアティブ
本社所在地	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム 電話:(03)5205-6500(代表) E-mail: ir@iij.ad.jp
上場証券 取引所	東京証券取引所市場第一部 2006年12月上場(証券コード:3774) 米国ナスダック 1999年8月上場(ティッカーシンボル:IJJI)
設立年月日	1992年12月3日
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	中間配当:9月30日 期末配当:3月31日

## 株式情報 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	75,520,000株
発行済株式総数	46,711,400株
株主数	7,836名
上位株主	
日本電信電話株式会社	21.6%
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	5.8%
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	4.4%
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	4.2%
鈴木 幸一(※)	3.9%

(※)当社代表取締役会長 鈴木幸一が100%所有する株式会社 K Holdingsは、当社株式に係る同氏の共同保有者であり、同社は当社株式810,000株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合:1.7%)を所有しております。

## 株主名簿管理人及び特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株式に関するお問い合わせ先  
〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11  
電話 ☎ (0120) 232-711 (通話料無料)  
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

特別口座管理機関は6月25日より、三菱UFJ信託銀行に変更となります。

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

### 【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

●法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

#### 【主な支払調書】

- \* 配当金に関する支払調書
- \* 単元未満株式に買取請求等株式の譲渡取引に関する支払調書

### 【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主様は、お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様は、上記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## Webサイト 「株主・投資家向け情報」のご案内



ぜひ当社のホームページをご覧ください。決算説明資料や開示資料のほか、プレスリリースやFAQ集等のコンテンツを充実させております。

URLはこちら ▶ <http://www.iij.ad.jp/ir/>

## 家族 もっと つながる

IJmioなら家族みんなで乗り換えてオトク!

**家族4人**のスマホ代  
スマホ1人分の料金で4人分\*2なのに、  
今までどおりしっかり使える!

複数台ならコレ  
**ファミリーシェアプラン**\*3  
月額 **3,260円**(税抜)  
バンドルクーポン10GB SIM枚数 最大10枚\*4  
月額料金:2,560円+音声通話機能付帯料:700円/枚

はじめての方はコレ  
**ミニマムスタートプラン**  
月額 **1,600円**(税抜) バンドルクーポン3GB  
月額料金:900円+音声通話機能付帯料:700円

端末を買ってもお得

**HUAWEI GR5** (RAM 2GB/ROM16GB)

24回  
分割払い

月々 **1,400円**(税抜)

大きな5.5インチ画面で  
見やすく使えて、こんなにオトク!

一括払い **32,800円**(税抜)

オプションも充実

**タブホ**(タブレット使い放題)  
400誌以上の電子雑誌が読み放題!  
お手軽価格でめいっぱい楽しめる。

月額費用 **500円**(税抜)

端末料金 HUAWEI GR5  
**1,400円**\*5(税抜)

オプション タブホ  
**500円**(税抜)

サービス料金 ミニマムスタートプラン 3GB 月額 **1,600円**(税抜)

合計 月額 **3,500円**(税抜)

\*1: IJmio高速モバイル/Dサービス[ファミリーシェアプラン]音声通話機能付きSIM4枚の場合。\*2: 一般的なスマホの月額費6,342円。「スマートフォン契約数及び端末別の月額利用料金・通信量(2015年3月)」株式会社MM総研 発表資料より \*3: 音声通話付きSIM(みおふぉん)は最大5枚までを上限としています。\*4: 4枚目以降のSIMカードご利用時より、月額料金400円(税抜)/枚が加算されます。新規申し込みと同時に申し込めるSIMカードは最大3枚です。4枚目以降ご利用の場合は、サービスのご利用開始後に会員専用ページよりSIMカードの追加をお申し込みください(有償)。\*5: 24回分割払いの場合。